

東洋英和女学院大学大学院

2008年度後期入学試験

問 題

人間科学研究科 修士課程

人間科学領域
幼児教育コース

共通小論文

修士課程 人間科学領域・幼児教育コース 共通小論文

問題Ⅰ

今日一般に、ひとつの問題や事柄が、一地域、一地方、一個人にとどまらないという現象が起きている。このような時代の中で「グローバル化」ということが様々な観点から言われ、論じられている。次の記事(opinion、朝日、2008. 3. 23)を読み、あなたは「グローバル化の時代」について、どう考えるかを、800字程度で述べなさい。

一体化と多様性が同時に

グローバル化の正体

@文明史



48年生まれ。早稲田大卒、オックスフォード大で博士号。早大教授などを経て、07年から現職。著書に「文明の海洋史観」「文化力」など。

静岡文化芸術大学長(比較経済史) かわかつ へいた 川勝 平太さん

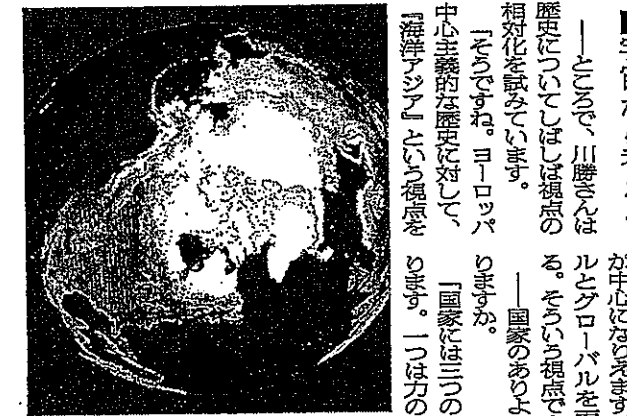
「歴史を文明や海からの視点で論じています。いま我々がグローバル化と呼んでいるものは、グローバル化が始まったときから、16世紀の大航海時代から始まったと考えています。ヨーロッパ大陸を見ても、1500年代の半ば、フランスシムコ・サビエルがヨーロッパ人が日本に来た。そして1800年にはイギリス人のウィリアム・アダムズ(三浦按察使)が日本に来た。この時期で、ヨーロッパの西の端と東の端がつながりました。グローバル化の始まりです。日本人もその頃、山田長政ら

が東洋のシマに進出してしまっただけです。一方、ヨーロッパ人はこの時期、新大陸に出発し、フロリダ(新天地)を開拓します。そのためにフリスカ(労働力)として人々を連れて行った。山も森を壊し、産業を興す。自然破壊をしたわけですが、それが現在、全世界に行きわたりました。」

「グローバル化は必然なのでしょか。それとも時代ごとに人々が選択した結果なのでしょか。」

「必然という運命論言の考えは前者です。人類が一定歩行を始め、道具を使うようになり、自然に開拓する技術を手に入れたときから、この流れが続いてきました。農業、工業の技術の発達によって人類は地上に広がっていき、地球社会を覆っていった。地球社会を覆っていったという意味でも、必然ですね。」

「その流れのなかで、我々は今、どういった段階にいるのでしょか。」



環境問題が文明の負荷となり、新たな地球観が模索されている。NASA提供

「人類が長い歴史のなかで地球を(共通のものとして)発見した、そういう段階があります。現在200近い国がいますが、ほとんどの国の指導者が「地球」という全体を意識しています。1992年の国連環境開発会議が一つのきっかけでした。このとき地球環境がもたらした地球についての認識が人類的な規模で行われた。これは大きく、それまで「日本は……」「アメリカは……」「中国は……」「地球は……」という認識が広がりました。」

「宇宙から考える」ところで、川勝さんは歴史を通じては「地球の相対化を試みています。」

「宇宙から考えたとき、地球は丸い球体です。地球を丸く見ると、地球の中心は地球の外から見たら、あらゆる方向から中心になる。ローカルとグローバルを両立させる。そういう視点です。」

「国家のあり方も変わります。1つは力の体系、2つは防衛力。もう1つは利益の間、それを「中洋」と呼びましょか。インド洋や東南アジアの多島海です。すると、大航海時代は、遅れたアジアではなく進んだアジア、文明交流圏としての海洋アジアの中洋に、「遅れた」ヨーロッパと日本が参入してアジアを追いかけよう、という姿が見えてきました。」

「日本はモデルに日本が持つ歴史的な知識を経験が、世界の参考になる」と論じています。

「地球環境は重要です。資源が枯渇するかもしれない。社会も農業社会には戻れない。自然の観察に学ばないと、自然の観察に学ばないと、自然と共存して生きる技術を発展させました。市場も資源を外に求めなかった江戸時代、外国から教わるのではなく、資源を再活用したり循環させたりして、農業や工業を発展させました。」

「日本は東洋の文明も西洋の文明も入れただけでなく、時間をかけて生活の中に取り込みました。言わば、世界の文明の博物館です。」

「日本に住む我々は、グローバル化についてどう考えればいいのでしょか。」

「日本列島の地図を見てください。北緯24度の与那国島まで、亜寒帯から亜熱帯まで広がっています。日本は地球全体の生態系のミニチュマといえるのでしょか。日本を地球に見立て、それぞれの地域が自立して、地域性を発揮した。東京中心じゃなく、ポスト東京の発想をしてほしい。地域性を生かした、自然と調和した生活環境をつくりあげていくこと、地球社会の未来に対するメッセージ性をぜひ、モデルにならしてほしい。日本にはそういう役割、ごう、使命があると考えています。」

聞き手 山下努 刀称館正明

修士課程 人間科学領域・幼児教育コース 共通小論文

問題Ⅱ

次の一文（「貧困を忘れた日本」）は、岩田正美著「現代の貧困－ワーキングプア／ホームレス／生活保護－」ちくま新書（2007）の中から取り出した文である。

この一文を読み、ワーキングプアについて、あなたの考えを800字以内で簡潔に述べなさい。